

# さたけ散歩

創刊号

◇次号予告◇

次回のテーマは「寅さんの息づかいが聞こえる町 柴又」

東京都葛飾区柴又を特集します。



下町の情緒が現代に伝わるまち 浅草



浅草寺 (東京都台東区)



東京都台東区浅草二丁目にある浅草寺 (せんそうじ:地図①) は「浅草の観音様」として人々から親しまれ、東京都内最古の寺と伝えられています。いまから約1400年前の628年、宮戸川 (現在の隅田川) で漁を行っていた檜前浜成・竹成 (ひのくまのはまなり・たけなり) 兄弟の網にかかった仏像が、現在の浅草寺本尊・聖観音 (しょうかんのん) 像となるのです。



この聖観音像を拝した檜前兄弟の主人である土師中知 (はじのなかとも、または「土師真中知 (はじのまなかち) ) は出家し、自邸を寺に改めて供養しました。これが浅草寺の起源と伝えられています。



645年、勝海上人 (しょうかいしょうにん) は聖観音の夢告により本尊を秘仏とするように決めました。観音像は高さ約5.5cmの金色の像と伝わりますが、秘仏のためその実体



～浅草観音温泉～



浅草寺に隣接する「浅草花やしき (地図②)」は江戸時代後期の1853年に開園され、日本最古の遊園地となっています。江戸時代は茶人や俳人、江戸城大奥の女中たちによる憩いの場として利用され、ブランコが唯一の遊具だったと伝えられています。



都内に4軒ある落語定席の一つ・浅草演芸ホール (写真上)。



■アクセス  
東京メトロ銀座線浅草駅下車徒歩5分  
つくばエクスプレス浅草駅より徒歩10分



浅草の代表的な歓楽街である通称「浅草六区 (あさくさろくく:地図③)」。往時は多くの映画館が建ち並んでいました。



「さたけ散歩」創刊にあたって

現代はちょっとした「江戸」ブームであり、書店には「江戸を歩く」「東京散歩」といった書籍や雑誌が数多く並んでいます。私たちの生活に身近な「江戸=東京」。「さたけ散歩」では誰もが一度は訪れたことがあるあの町・あのお寺・あの神社をご案内したいと思っています。この冊子をお読みになり、楽しく散歩された日のことを思い出していただければ幸いです。